

cheero®

DANBOARD® Wireless Speaker

CHE-617 取扱説明書 日本語版

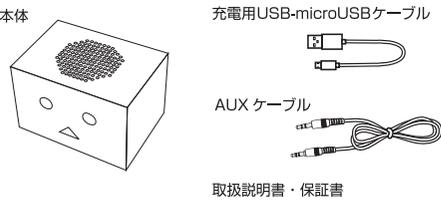
■はじめに

この度は cheero DANBOARD Wireless Speaker をお買い求めいただきありがとうございます。cheero DANBOARD Wireless Speaker は、いつでもどこでも誰とも楽しめる Bluetooth スピーカーです。ご使用前に本取扱説明書をお読みいただき、未永くご愛用くださいませ。ごようお願い申し上げます。なお、本取扱説明書は必ず保管してください。

ティ・アール・エイ株式会社 love@cheero.jp
大阪市中央区北浜東 6 番 6 号 http://www.cheero.net

■内容物

本体及び付属品が同梱されていることをご確認ください。



■安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

- 危険** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
- 警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
- 注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)
- してはいけない内容です。
- 実行しなければならぬ内容です。

■危険

■バッテリーについて
本機にはリチウムイオン電池が内蔵されています。発熱、発火、液漏れ等とを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

- 異臭や発熱、ひずみ、変色などの異変に気づいたら使用を続けない。発熱や発火、発火の原因となります。
- 分解・改造しない。発熱や発火、感電の原因となります。
- 火の中に入れたり、火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしない。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電解液が漏れている場合は使用を続けない。発熱や発火、発火の原因となります。

■警告

- 故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源を切る
 - 煙が出ている、変なにおいや音がある
 - 本機を落としてしまった
 - 本機内部に水が入ってしまったこのような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切って販売元あるいは当社修理ご相談窓口へ修理・点検を依頼してください。
- 分解、改造しない。火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店あるいは当社修理ご相談窓口にご相談ください。放熱を防がない
- かばんの中や本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない
- 布やテーブルクロスをかけて使用しない

- 長時間音がひずんだ状態使わない。スピーカーや内部のチップなどが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 自転車、オートバイ、自動車または機械類の運転操作をしない。運転操作中はもちろん、それ以外でも、踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では、使用しないでください。
- 水蒸気や水のかかる所に置かない。水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
 - 風呂場や脱衣場など湿度の高い場所では使用しない
 - 調理台や加湿器のそばには置かない
 - 音や雪などがかかるとご使用できない
- microUSB 入力口は定期的に掃除する。microUSB 入力口にはほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。充電用ケーブルを外し、乾いた布でほこりを取り除いてください。
- 電解液が漏れた時は素手で液をさわらない。液漏れが発生した時には販売店あるいは当社修理ご相談窓口にご相談ください。液が目に入った時には失明の恐れがありますので、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。液が体や衣服に付いた時は皮膚のけが・やけどの原因となるのできれいな水で洗い流したあと、ただちに医師にご相談ください。

- 充電用 USB-microUSB ケーブルについて
 - 充電用ケーブルを傷つけない
 - ケーブルの上に重い物をのせない
 - 傷つけたり、加工したりしない
 - 熱器具などに近づけない、加熱しない
 - 充電用ケーブルが濡んだら（芯線の露出・断線など）使用を中止してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
 - 充電用ケーブルを鋭い角度で曲げたり、無理になじったり、引っ張ったり、無理な力を加えない
 - 内部の線材や端子が破損して火災・感電の原因となります。
 - 充電中に重が降りたとき、充電用ケーブルに触れない。感電の原因となります。

- 電波について
 - 心臓ペースメーカーを装着されている場合は使用しない。電波によりペースメーカーの動作に影響を与える原因となります。
 - 病院などの医療機関内、医療用機器の近くや、飛行機中では使用しない。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。
 - 他の機器に電波障害などが発生した場合使用を中止する。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

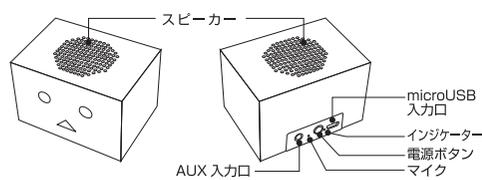
■注意

- 不安定な場所や振動する場所は設置しない。強度の足りないや凸凹した台や振動する場所に置かないでください。本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 長時間大きな音で使用しない。本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で長時間使用して使用すると、聴力が大きく損なわれるおそれがあります。

- 小さなお子様の手の届くところで使用・保管しない。感電やけがの原因となります。
- 音量を上げすぎない。突然大きな音が出てスピーカーを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げて使用してください。
- クレジットカード、通帳など、磁気を利用した製品を近づけない。磁気の影響でクレジットカードや通帳が使えなくなったり、データが消失することがあります。
- 移動時やお手入れの際は充電用ケーブルや AUX ケーブルをはずす。移動時やお手入れの際は、安全のため充電用ケーブルや AUX ケーブルを抜いてから行ってください。microUSB 入力口や AUX 入力口あるいは microUSB 端子やステレオミニプラグが破損することがあります。
- 10℃～40℃以外の場所で使用しない。内蔵バッテリーが液もれ・発熱・破裂する原因となります。
- 発熱時は充電用ケーブルをはずしてしばらく放置する。発熱や発火の原因となります。

- 電波について
 - 本機が使用する周波数帯 (2.4GHz) では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場・製鉄ラインで使用されている移動体通信利用の機内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。他の機器との干渉を防止するために、次の点に十分ご注意ください。またご使用ください。
 - 本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本機からの無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合、速やかに使用を停止してください。
 - すべての Bluetooth 機能に対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
 - 本機と Bluetooth 対応機器との互換性については、各 Bluetooth 対応機器に付属の取扱説明書を参照するか、または販売店にお問い合わせください。
 - 一部の国では、Bluetooth 対応機器の使用が制限されている場合があります。Bluetooth 対応機器の使用については、お住まいの自治体にお問合せください。

■各部の名称



■使用方法

スマートフォンなど Bluetooth 対応機器の音声・楽曲をワイヤレスで楽しむことができます。*本機をスピーカーとして使うには Bluetooth 対応機器が A2DP プロファイルを、またハンズフリー通話を行うには HFP プロファイルをサポートしている必要があります。なお、すべての Bluetooth 対応機器との接続動作を保証するものではありません。

■電源の入れ方

電源ボタンを長押し (3 秒) します。「ピンボーン」という電子音が出ると、インジケータが青く点灯あるいは点滅します。*電源が入っているときに電源ボタンを長押し (4 秒) すると、「ピボボボ」という音が出ると電源が切れ、インジケータが消灯します。

■Bluetooth 対応機器とペアリング (機器登録) する

Bluetooth 対応機器と接続するには、はじめに 1 回だけペアリングを行う必要があります。事前に Bluetooth 対応機器の「Bluetooth 設定機能」を有効 (オン) にする方法や「接続動作」の操作手順をお調べください。

- 電源ボタンを長押しして、電源を入れます。
 - *ペアリングされた機器が見つからないときは自動的にペアリングモードになります。*ペアリングされた機器が見つからないときは約 5 分で電源が自動的に切れますので、それまでにペアリングを完了してください。
- Bluetooth 対応機器の Bluetooth 設定機能を有効 (オン) にします。Bluetooth 対応機器の画面に表示される「CHE-617」を選んでください。接続が完了すると「ピン」という電子音が出ると、インジケータが青く点灯します。
 - *2 目をペアリングする際は、1 回目の電源を切ってから行ってください。*Bluetooth 設定機能を解除 (オフ) にするとペアリングが解除され、「チャララン」という電子音が出てインジケータが点滅します。

■Bluetooth 接続で再生する

Bluetooth 対応機器の接続操作を行い、Bluetooth 対応機器を操作して音声を再生します。

- *音量調整や停止なども Bluetooth 対応機器で操作します。
- *音声再生中はインジケータが青くゆくりと点滅します。
- *バッテリー残量がなくなると「ピロピロ」という電子音が 30 秒ごとに数回鳴りますので、充電を行ってください。
- *最後にペアリングした Bluetooth 対応機器の電源が入っており、そばにあると、電源を入れるだけで、最後にペアリングした Bluetooth 対応機器と再接続します。

■外部入力端子を使用する

本機にはステレオミニジャックの AUX 入力口が備わっています。入力口に付属の AUX ケーブルを接続すると「ピララ」という音が出ると接続が完了します。

- *AUX 入力口が優先されます。Bluetooth と同時に使用できません。
- *音量の調整は再生機器側で行います。
- *ケーブルが接続されている間、インジケータが青くゆくりと点滅します。

■ハンズフリーで通話する

Bluetooth 対応機器が携帯電話やスマートフォンなど電話機能を持っている場合、電話が掛かってきて、本機から電話のコール音が出たときに電源ボタンを押すと、本機のマイクとスピーカーを接続して通話ができます。

- *電源ボタンを押す代わりに、Bluetooth 対応機器で本機を選択することもハンズフリーで通話することができます。
- *音声を再生中に電話が掛かってくると、再生音がミュートされて電話のコール音が聞こえます。
- *通話を終了したいときはも一度電源ボタンを押します。

■2 台使ってステレオ再生する (ステレオペアモード)

本機は True Wireless Stereo 機能を搭載していますので、2 台を使用して 1 台を左側、もう 1 台を右側に置いてステレオ再生が可能となります。

- *Bluetooth 対応機器とペアリングを終了している場合は、ステレオで使いたいスピーカーのペアリングをすべて解除します。
- *接続を解除するだけでなく、登録を解除します。
- *いちど両方のスピーカーの電源を切ります。
- 1. 両方のスピーカーの電源ボタンを長押しして、電源を入れます。
- 2. 左側に置きたい方のスピーカー (左チャンネルになります) の電源ボタンをダブルクリック (カチカチと続けて 2 回押し) すると「ブーン」という音が出ます。
- 3. そのまじばらく待つと両方のスピーカーから「ピコピコ」という音が出、片側のスピーカーのインジケータが青く点滅し、もう片側のスピーカーが青く点灯します。
 - *ペアになるまでに 10 秒程度待つ必要がある場合があります。
 - *インジケータが青く点滅している方が左チャンネルとなります。
 - *ハンズフリーとして使う場合はインジケータが青く点滅している方 (左チャンネル) のマイクを使います。
- インジケータが青く点滅している方 (左チャンネル) の電源ボタンを長押しすると両方のスピーカーの電源が切れます。
 - *インジケータが青く点灯している方 (右チャンネル) の電源ボタンを長押しして電源を切っても、もう片側 (左チャンネル) の電源は自動的に切れません。
 - *電源を入れるときは、それぞれのスピーカーの電源ボタンを長押しします。
 - *いっこステレオペアモードにしておくと、次回両方のスピーカーの電源を入れたとき、数秒後に自動的にステレオペアモードになります。

■充電する

- 電源ボタンを長押しして電源を切ります。2. 付属の充電用ケーブルの microUSB 端子をスピーカー背部の「microUSB 入力口」に接続します。
- 充電用ケーブルの USB 端子をパソコンに接続します。または充電用ケーブルを USB AC アダプタ (別売) に接続し、アダプタを家庭用コンセントに接続します。インジケータが赤く点灯します。
 - *インジケータが消灯すれば充電完了です。
 - *充電時間は約 3 時間です (初回充電時はさらに時間がかかる場合があります)。

4. 充電が完了しましたら充電用ケーブルを外します。*長時間使用しない日バッテリーが自然放電して劣化しますので、3ヶ月に 1 度程度は本機への充電を行ってください。
 - *充電完了後はできるだけ早く本体からケーブルを外してください。バッテリーの消費の原因となります。

■よくある質問

Q.	音が出ない、通話ができない
A.	・デバイス側の音量が下がっていたり、ミュートになっていないかご確認ください ・デバイスの出力先設定が「CHE-617」になっているかご確認ください
Q.	接続やペアリングが突然できなくなった
A.	接続と接続機器の電源を切り、機器情報を削除してから もう一度接続やペアリングを行ってください
Q.	本製品とデバイスの通信距離
A.	約 10m ですが、間に障害物があると、通信距離は短くなります
Q.	他の Bluetooth 使用者によって通信内容を傍受されるか
A.	ペアリングによって保護されています
Q.	本製品から雑音に聞こえる
A.	通信距離を超えたり、壁や人間の体 (接触した状態) などを挟むと雑音が入る場合があります

■主な仕様

品名	cheero DANBOARD Wireless Speaker
型番	CHE-617
寸法 (本体)	70×50×46 mm
重量 (本体)	105g
入力	5V / 300mA
バッテリー容量	700mAh / 3.7V (2.59Wh)
充電時間	約 3 時間
再生時間	約 7 時間
Bluetooth Ver	Ver. 4.2

■ライセンスと商標について

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ティ・アール・エイ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

cheero® はティ・アール・エイ株式会社所有の登録商標です。

■キャビネットについて

本機はそれぞれの個体によって木目模様や色合い、ひとつとして同じものはありません。これは無垢の木材を使用しており、原材料の木目や年輪が表面にあらわれているからです。

■本機のお手入れについて

表面の汚れは、中性洗剤を少しめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意事項などに従ってください。

■修理ご相談窓口のご案内

製品に不具合がございましたら、不具合内容、ご購入店舗を、下記問合せ先までご連絡ください。ご注文番号がある場合は、ご注文番号もお知らせください。

お問い合わせ先: ティ・アール・エイ株式会社
Eメール: love@cheero.jp
URL: http://www.cheero.net

■保証書

- ①保証書をご提示又は送付いただく事で、無償修理又は同等の製品と交換させていただきます。
- ②この保証書は DANBOARD Wireless Speaker 本体のみの保証です。またご使用に際して携帯電話、その他の音楽データ各種メモリー内容に関する損害などの保証をするものではありません。
- ③保証 (修理) の際には納品書 (注文番号がわかるもの) が必要となりますので、保証書と一緒に保管しておいてください。
- ④本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- ⑤保証期間内でも次の場合には保証の対象外となります。

- *使用上の誤り、改造や不当な修理による故障または損傷
- *お買い上げ後の輸送、落下などによる故障または損傷
- *不当な保管、保存による故障または損傷
- *火災、地震、水害、落雷、その他の天災地災、公害、煙害、などによる故障または損傷
- *本書のご提示がない場合
- *その他、当社の責任とみなされない故障または損傷

保証期間	お買い上げ日より 1 年間
商品名	cheero DANBOARD Wireless Speaker
お買い上げ日	年 月 日

ティ・アール・エイ株式会社 住所: 大阪市中央区北浜東 6 番 6 号